

# 地域コミュニティにおけるデジタルアーカイブシステムの構築

小田島瑞希<sup>†</sup> 竹野健夫<sup>†</sup> 植竹俊文<sup>†</sup> 菅原光政<sup>†</sup>

岩手県立大学ソフトウェア情報学部<sup>†</sup>

## 1. はじめに

地域コミュニティにおける郷土文化保護活動には、地域資源の収集を目的とした住民参加型のデジタルアーカイブが拡大しつつある<sup>1)</sup>。地域住民の記録や地域内活動の記録を含んだ郷土文化のコンテンツは住民参加の促進に効果が期待されるが、地域住民が持つ住民自身の記録や地域内活動の記録といった情報は、住民の情報提供による割合が大きい。そのため、住民の参加をいかに促しコンテンツの収集へ結びつけるかが課題となる。

本研究では、地域コミュニティにおける住民参加型の郷土文化保護活動を対象に、地域住民が持つ地域資源の情報提供を促す仕組みとして、CMS (Content Management System) の構築を行い、地域活動と関連性のある郷土文化のコンテンツを地域情報と併せて配信する方法を提案する。

## 2. 住民参加を促すための仕組み

郷土文化保護活動を地域内で推進していくためには、地域住民の参加によるコンテンツの収集が必要となる。そこで、地域性、時事性を考慮した地域情報の提供による住民の意識啓発を行い、参加促進を図る。

### 2.1. 地域住民からの地域資源の情報収集

行政や自治体が収集を行う地域の郷土文化は、収集対象である地域との歴史的関連性等が重視されがちである。そこで地域住民が持つ郷土文化に関するエピソードや暮らしとの関わりといった情報は、行政や自治体が収集した郷土文化情報の補完的役割、または地域内イメージの創出に機能すると考えられる。

### 2.2. 収集した郷土文化の情報共有

地域においてどのような文化保護活動が展開されているのか、その情報を収集する手段が広報等に限定されている場合が多い。また、地域住民が個々に所持しているコンテンツを地域へ発

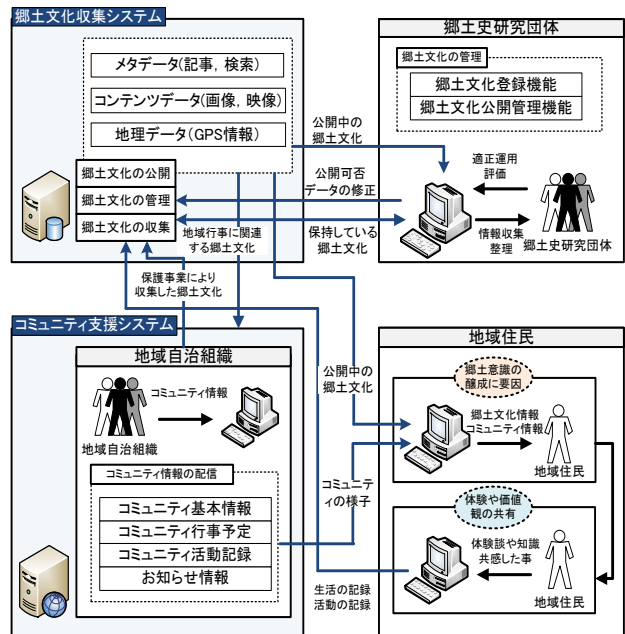


図1 提案システム構成図

信するための場合は限定されている。そのため、収集した郷土文化情報を、地域内外へ発信または共有するための情報基盤が必要である。

### 2.3. 収集したコンテンツの利活用促進

地域内で収集した郷土文化や地域資源の情報は、地域内行事やコミュニティの活動事業と関連付けて発信することで、その収集に至った契機や地域の生活との関わりを地域内全体で認識または地域環境を評価する機会に繋がる。

そこで、地域内で収集された郷土文化や地域住民が持つコンテンツの収集および共有を図り、地域の日常生活と関連付けた、地域視点による郷土文化の情報発信を行うことで郷土文化保護活動の周知を図る。

## 3. 提案システムの概要

提案する情報システムはコミュニティ支援システムと郷土文化収集システムの2つから構成され(図1)、両システムは相互に連携を行い、地域情報及び郷土文化コンテンツをシステム内で共有することができる。

Construction of Digital Archive System in Local Community  
Mizuki KODASHIMA<sup>†</sup>, Takeo TAKENO<sup>†</sup>, Toshifumi UETAKE<sup>†</sup>, Mitumasa SUGAWARA<sup>†</sup>  
Faculty of Software and Information Science, Iwate Prefectural University<sup>†</sup>

表 1 システムの開発環境

IDE	NetBeans 6.8
サブレット	Apache Tomcat 6.0.20
開発言語	Java (JDK 1.6.0_23), HTML
DBMS	MySQL5.1.39

### 3.1 コミュニティ支援システム

表 1 にシステムの開発環境, 提案システムの機能を以下に示す.

#### (1) 地域コミュニティの情報配信機能

地域コミュニティの情報配信機能ではコミュニティ情報の収集配信を支援する. 地域の日々の活動や暮らしに関わるお知らせ, コミュニティの行事といった地域に関する基本的な情報を管理し地域住民へ配信する.

#### (2) 郷土文化収集システムとの連携機能

郷土文化収集システムとの連携機能では, 地域内で収集された郷土文化情報を地域の活動と関連付けて配信する. 郷土文化収集システムで登録された郷土文化コンテンツをドロップダウンリスト形式で表示し, 地域行事と関連性の高いコンテンツを地域自治組織の役員が選択・登録を行うことで, リンクによる関連付けが設定される.

### 3.2 郷土文化収集システム

地域住民, 地域自治組織, 郷土史研究団体から収集した郷土文化コンテンツを管理し, 文化の保存・継承支援を目的としたデジタルアーカイブシステムである<sup>2)</sup>. コミュニティ支援システムとの連携により, 郷土文化収集システムで管理する郷土文化のコンテンツは, 地域コミュニティ単位のエリアによる分類によって抽出され, 地域に関する情報としてコミュニティ支援システムで更新情報を確認することができる.

## 4. 対象地域を想定したシステム開発

### 4.1 対象地域の概要

開発システムは岩手県花巻市における K 地区コミュニティ会議をモデルとして構築を行った. 岩手県花巻市は, 地域独自の規定によって, 地区の公民館単位を基本に, コミュニティベースの事業展開を促進する制度を導入しており, 地域の身近な課題に対応するために, 公民館等を拠点とした 27 のコミュニティ会議が存在する. K 地区コミュニティ会議はその中の 1 つであり, 郷土文化の保護がまちづくり事業の一環としてコミュニティ開設当初から取り組まれている地域である.



図 2 システム画面 (トップ画面)

### 4.2 対象団体へのシステム導入

対象地域において, K 地区コミュニティ地域ポータルサイト (図 2) として情報システムを開発し運用を予定しており, 地域情報と連動した郷土文化コンテンツの配信を行うことにより地域住民からのコンテンツ収集の支援が期待できる.

## 5. おわりに

本研究では, 地域コミュニティにおけるデジタルアーカイブシステムとして, 地域内活動と合わせた郷土文化情報の発信による住民参加の促進を考慮した情報システムの構築・提案を行った. 今後は対象地域でのシステム運用を行い, 地域ニーズに即した参加型アーカイブシステムの要求仕様を明確化する. また, 岩手県花巻市の各地域コミュニティ同士の連携を行うシステムを構築し, 地域コミュニティのネットワーク形成による地域社会全体の活性化を目指す.

### 参考文献

- 1) 総務省関東総合通信局: 地域住民参加型デジタルアーカイブの推進に関する調査検討会報告書, 1(1)pp.2-3(2010).
- 2) 高橋寛隆ら: 郷土文化を対象としたデジタルアーカイブシステムの構築, 平成 22 年度岩手県立大学卒業論文要旨集, pp.84-85(2010).